

カメラ まちの出来事

あらかると

広報たかはし

広報たかはし



節目の吹屋 歴史をたどる (9月29日、30日 成羽町吹屋ほか)

銅山開山1200年、ベンガラ製造300年、重要伝統的建造物群保存地区選定30年などを記念して「吹屋周年記念まつり」が行われました。

29日は、記念式典や記念講演、旧片山家住宅(国重要文化財)や吹屋小学校(県重要文化財)の見学会、30日には「ふれあいイベント」を開催。ふれあいイベントでは、地元住民らによる芸能発表や農産物の販売、ベンガラ染めや陶芸体験などが行われ、吉岡銅山跡(成羽町坂本)などを巡る無料バスも運行されました。

長寿おめでとうございます (9月18日 市内病院)

敬老の日に合わせて、市長らが市内の男性最高齢者・川上房市さん(南町・102歳)の長寿を祝いました。長寿の秘訣は「特にないが、精神力が強かったこと」だそうです。(写真右)

また、女性の最高齢者・西岡玉子さん(内山下・105歳)のお祝いにも訪れました。長寿の秘訣は「物事を楽観的に考えること」だそうです。

市内で100歳以上の人は9月17日現在で28人(男性5人、女性23人)。



地域、家庭、職場に介護の知識・技術を (7月12日～9月11日 川上総合学習センターほか)

7月12日から「高梁市訪問介護員養成研修」が約2カ月間実施され、川上総合学習センターで9月11日に閉講式が行われました。今年度、終了証書を手にしたのは18人(一般13人・城南高校生5人)。

この研修は平成6年から川上町で毎年実施。本年度までに資格を取得した人は次のとおりです。訪問介護員2級課程および3級課程(延べ477人)、難病基礎課程(392人)、精神障害課程(214人)。

万一の災害に備えて (9月20日 川上総合学習センター)

市は「防災訓練」を行い、土砂災害を想定した避難訓練では、民生委員・児童委員による「災害時一人も見逃さない運動」と連携し、災害時に援護が必要な人に配慮した避難誘導を実践しました。

また、場外では煙体験や消火器を使用した消火訓練、市内婦人防火クラブによる炊き出し訓練も行われ、訓練を通して防災意識の高揚を図りました。





世界のぶどうがいっぱい

(9月15日～9月30日 川上町世界のぶどう園)

世界15カ国59品種のブドウが栽培されている同園(川上町七地)に、多くの家族連れらが訪れ、ブドウの見学や試食などを楽しみました。

ビニールハウスなど83棟に、「瀬戸ジャイアンツ(桃太郎ぶどう)」や、房の長さが50センチ以上もある「ブラック三尺」、そのほか外国産の「リザマート(ロシア)」、「ピッテロピアンコ(イタリア)」などを栽培。毎年9月中旬から下旬に開園し、今年で14年目を迎えました。

しっかり考えよう、環境のこと

(10月6日、7日 市内大型店)

「環境フェアinたかはし」(市環境衛生協議会主催)が行われました。

店内の会場では環境にかかわる展示やパネルディスカッションなどがあり、また学習クイズ「岡山エコ検定」には吉備国際大学環境リスクマネジメント学科の学生の手助けで家族連れらが難問に挑んでいました。駐車場会場では紙すきやソーラーカー遊び体験などもでき、来場者は環境の大切さを学ぶ機会となりました。



なつかしの駄菓子屋、大人気

(10月7日 紺屋川美観地区一帯)

「愛らぶ高梁ふれあい広場」(高梁市青年経済協議会主催)が行われました。今年のテーマは“蘇れ!懐かしのあの頃に全員集合!!”。昭和30～40年代を思い出させるイメージたっぷりの駄菓子屋テントがにぎわい、協議会員が当時のヒーローやアニメキャラクターに扮して会場を盛り上げました。また、特設ステージではガールスカウトによるダンスやピッチュマンショーもありました。

網島梁川らの功績を学ぶ

(9月14日～9月24日 有漢生涯学習センター)

有漢町出身で明治の思想家・網島梁川(1873～1907)の没後100年の記念行事が行われ、郷土の偉人の功績を学びました。期間中、梁川自筆の日記や原稿や、弟・静観の日本画作品など約200点を展示。22日には岡山大学名誉教授・行安茂さんによる記念講演やゆかりの地を巡るウォーキングが行われました。



安全運転をお願いします

(9月21日 高梁警察署南側国道緑地帯)

秋の交通安全県民運動(9月21日～30日)に合わせ、「交通安全オアシス村」(市交通安全対策協議会主催)が行われました。

参加した高梁北および高梁南交通安全母の会会員や交通安全協助人らは、通行中のドライバーに、母の会手づくりのフクロウやヒョウタンのマスコットを啓発チラシとともに手渡し、安全運転を呼びかけました。

今月の 表紙

～やま里の秋～

ヒガンバナ(彼岸花)の名は秋の彼岸ごろから開花することが由来の一つ。今年は、残暑が厳しく、9月下旬から10月初めにかけてやっと見ごろとなりました。

表紙の写真は10月5日、中井町のある田んぼで撮影しました。田んぼの稲掛け風景は最近ではあまり見かけなくなりました。脱穀も終わり、ヒガンバナが姿を消すところには一段と秋が深まりを見せます。